



いろんな発見したよ R5.2.14（火） ひまわり組

今日は、いしかわ子ども交流センターに出かけました。到着した時、あられが降っていて「木の下で雨宿りしたらいいんじゃない？」という声が聞かれ、大きなしいの木の下に移動しました。木の下に行くと、「先生！虫メガネ（ルーペ）ちょうだい！」と、じっくりと木の観察が始まりました。「ワニの顔みたい」「ここも顔に見えるよ」と自分が発見した幹の模様を友だちと伝え合っていました。

晴れてきたので、他の場所にある他の木も見てみることにしました。木の芽を発見し、「恐竜の爪みたい」「こっちのはロウソクみたい」と何かの形に見立てながらも「もう春がくるんじゃないかな？」と季節の移り変わりを感じている子もいましたよ。



木が泣いているみたいに見えて面白いね



クモの巣についた水滴を発見！



何に見えるかな？



幹がスカスカな木を発見し、「死んでしまったんじゃないかな？」と心配していた子どもたちでしたが、その木を見上げると生き生きとした細い枝が生えていて「大丈夫！生きているね」とほっとする様子が見られました。これまでの経験から関連づけたり考えたりできるところがさすがですね！



顕微鏡で雪の観察



**何人で届くかな？
4人だと届いたよ**



雪の迷路みたい！